事業区分	事業運営方法 □ 1 直営 □ 3 全部委託 □ 2 一部委託 □ 4 補助等 事業の開始・終了 □ 令和 □ 年 □ 期間設定なし □ 根拠法令等 □ 育てよう! 阿波ベジキッズ育成委託業務実施要領 図 である □ である。 □ であ	<ul><li>・負担金・支援</li><li>・費担金・支援</li><li>・費理事務・その・</li><li>実施計画</li><li>1該当</li><li>2非該当</li><li>「食」の大切さや</li></ul>	業 5 補助理 6 内部 6 内部 6 日本 6 日	3 経常的事務事 4 施設の維持管理 合う阿波 と実 リエの育成	3. 人が輝き (2)食育の充 (4)野菜ソム	● 1 ソフト事業 ○ 2 ハード事勢 基本構想(政策) 基本計画(施策) 主要施策	事業区分	
② ハード事業   ② 4 施設の維持管理   ③ 6 内部管理事務・その他   ③ ま本構想(政策)   ③ 1 放当   事業の開始・終了   本本計画(施策)   ② 1 食百の充実   ⑤ 1 該当   令和 年   ② 期間設定   東施計画   東東の開始・終了   東東の開始・終了   東東の策   〔4)野菜ソムリエの育成   ② 非該当   根拠法令等   育てよう! 阿波ペジキッズ育成委託業務   対象・目的   どうい	世 事業連営方法 2 一部委託 4 補助等 事業の開始・終了 令和 年 ~ 令和 年 ☑ 期間設定なし 根拠法令等 育てよう!阿波ベジキッズ育成委託業務実施要領 を謝の気持ちを学び、また各種イベントにおいて市内産野菜等のPR	哲理事務・その 実施計画 1該当 2 非該当	理 6 内部	4 施設の維持管理 合う阿波 E実 リエの育成	3. 人が輝き (2)食育の充 (4)野菜ソム	○ 2 ハード事業 基本構想(政策) 基本計画(施策) 主要施策		
2	四	実施計画 1 該当 2 非該当 「食」の大切さや	農業体験を通し	合う阿波 E実 リエの育成	3. 人が輝き(2)食育の充(4)野菜ソム	基本構想(政策) 基本計画(施策) 主要施策		
総合計画 基本計画(施策) (2)食育の充実	令和 年 ~ 令和 年 ✓ 期間設定なし 根拠法令等 育てよう! 阿波ベジキッズ育成委託業務実施要令   根拠法令等   育てよう! 阿波ベジキッズ育成委託業務実施要令	1該当 2非該当 「食」の大切さや	農業体験を通し	E実 リエの育成	(2)食育の充 (4)野菜ソム	基本計画(施策) 主要施策 対象(護を	総合計画	
主要施策	根拠法令等 育てよう! 阿波ベジキッズ育成委託業務実施要令 一根拠法令等 育てよう! 阿波ベジキッズ育成委託業務実施要令 一根拠法令等 育てよう! 阿波ベジキッズ育成委託業務実施要令 「おいて市内産野菜等のPR	<ul><li>2 非該当</li><li>「食」の大切さや</li></ul>	農業体験を通し	リエの育成	(4)野菜ソム	主要施策	総合計画	
対象 (誰を、何を)	惑謝の気持ちを学び、また各種イベントにおいて市内産野菜等のPR	「食」の大切さや	農業体験を通し			計争(誰な		
TRATIFE	惑謝の気持ちを学び、また各種イベントにおいて市内産野菜等のPR じた魅力ある住みやすいまちづくりを行います。	「食」の大切さや 、、食育活動を通	農業体験を通し		小学生	対象(誰を、 土。		
日的	惑謝の気持ちを学び、また各種イベントにおいて市内産野菜等のPR じた魅力ある住みやすいまちづくりを行います。 -	「食」の大切さや :、食育活動を通	農業体験を通して			何を) <sup>ロア</sup>		
PLAN       (たいのか) 今年度         事業の 活動内容       (全) 野菜の販売活動や調理実習、あるいは各種イベントにおける本市産野菜等のPR実施         数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)       指標名 計算式又は指標設定理由 単位 令和 3 年度 令和 4 年度 令和 5 年度 最少 年度 最近 60 年少、工野菜ソムリエ育成人数 年度 60 年少、工野菜ソムリエ育成人数 年度 60 年少、工野菜ソムリエ育成議座 開催数 日 日標 2 年の一日標 2 年の一日標 2 年度 1 日標 2 年度 1 日本 2 日本 2 年度 1 日本 2 日本 2 日本 2 年度 1 日本 2 日本			し理解を深めるな	菜ソムリエを育成し、 也域の豊かさを認識	<mark>冬的</mark> キッズ野豚を行い、地			
事業の活動内容     ② 野菜の販売活動や調理実習、あるいは各種イベントにおける本市産野菜等のPR実施       3     ④       数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)     大型ズ野菜ソムリエ育成構座開催数       予算費目 会 計     本ツズ野菜リムリエ育成構座開催数       国標果積     2       実績     2       実績     2       実績     2       事業費     1       農業振興費					<mark>F度</mark>		L	
事業の活動内容     ② 野菜の販売活動や調理実習、あるいは各種イベントにおける本市産野菜等のPR実施       3     ④       数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)     大型ズ野菜ソムリエ育成構座開催数       予算費目 会 計     本ツズ野菜リムリエ育成構座開催数       国標果積     2       実績     2       実績     2       実績     2       事業費     1       農業振興費			の5つまで)				A	
活動内容   ③   ④   ⑤   ⑤   ⑤   ⑤   ⑤   ⑥   ⑥   ⑥   ⑥   ⑥					-	)		
(4)       (5)       指標名       計算式又は指標設定理由       単位       令和 3 年度       令和 4 年度       令和 5 年度       最         数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)       大学ズ野菜ソムリエ育成講座開催数       回       目標       2       <	<u>&amp;</u>	野菜等のPR実	ントにおける本市	、あるいは各種イベ	動や調理実習	0		
あります     1 標名     計算式又は指標設定理由     単位     令和 3 年度     令和 4 年度     令和 5 年度     最       数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)     キッズ野菜ソムリエ育成講座開催数     回     目標     2       下ります     日標     2       実績     2       実績     2       実績     2       日標     2       実績     2       日標     2       実績     2       日標     2       実績     2       日標     2       実績     1       日標     1       大き費     1       日本     1       日本 <td></td> <th></th> <td></td> <td></td> <td></td> <td>_</td> <td>活動内容</td>						_	活動内容	
予算費目     指標名     計算式又は指標設定理由     単位     令和 3 年度     令和 4 年度     令和 5 年度     最長       数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度 房間を数     キッズ野菜ソムリエ育成講座 開催数     回     目標 実績     2       予算費目     会計     本の注析標数     目標 実績     工作     工作     工作       予算費目     会計     本の注析表別     本の注析表別     表別     表別 <td row<="" th=""><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></td>	<th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th>							
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)     キッズ野菜ソムリエ育成講座 開催数     回     目標 日標 実績     2       日標 実績     2       目標 実績     2       日標 実績     1       実績     2       実績     2       実績     1       実績     1       大     1       1     1       1     1		A T=	2271	-,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1=1 <i>6</i> 6	)		
数に日標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)     キッズ野菜ソムリエ育成講座 開催数     回     目標 実績     2       日標 実績     1目標 実績     2       日標 実績     1目標 実績     1目標 実績       日標 実績     1目標 実績     1目目 5 農業振興費		令和 3 年		(は指標設定埋田	く	指標名		
及び活動内容の達成度を測る指標)     キッズ野菜ソムリエ育成講座 開催数     回     目標 実績 2					人数	キッズ野菜ソムリエ育用		
容の達成度 を測る指標)     開催数     実績     2       ・調る指標)     目標     実績     1       ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			日標					
を測る指標)     目標       実績     「東橋」       予算費目 会 計     款 6 農林水産業費     項 1 農業費					SH4/II		容の達成度	
予算費目   会   計			目標				を測る指標)	
			実績					
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		水産業費				会計	予算費目	
	令和 5 年度予算 備考	年度決算	令和 4	3 年度決算	令和 3			
国庫支出金     千円       千円     千円	1711日 〇 一一次 17 开   川 一 一 川 一 一	千円						
	千円							
	千円 千円	千円		千円1			直接事業費	
D 千円 千円 千円 千円 千円	千円 千円 千円	千円 千円				その他特定財源		
32 71 44	千円       千円       千円       千円	千円 千円 千円		千円				
	千円 千円 千円 千円 1,800 千円	千円 千円 千円 717 千円		千円 580 千円		一般財源	O .	
	千円 千円 千円 1,800 千円	千円 千円 千円 717 千円 717 千円	0.000	千円 580 千円 580 千円	0.000	一般財源 計(A)		
	千円 千円 千円 千円 1,800 千円	千円 千円 千円 717 千円	0.600 人	千円 580 千円	0.600 人	一 般 財 源 計(A) 正職員工数·経費		
全計年度任用職員工数・経費   人	千円       千円       千円       千円       1,800 千円       1,800 千円       0.600 人     3,636 千円	千円 千円 千円 717 千円 717 千円		千円 580 千円 580 千円	, ,	一般財源 計(A)		

					チェックコ	項目				一次	評価		_	次評価の	の説明			二次	評価	
		1.					、確保できる等 と響は大きくな		〇 少	ない	● 大き	(I)	食育活動 効果的に				0	少ない		大きい
	必要	2.					る緊急性が認		○ <i>な</i>	い	<ul><li>ある</li></ul>		和2年度か	ら「キッス	ズ野菜ソ	ムリ	0	ない	•	ある
	要性	3.	住民満足度の「	向上のために	こ、現在の	の手段、方	法等の改善の余	余地がある。	O あ	る	● ない		エ」育成を 校における	:推進する るクラス単	にめ、そ 単位での・	i小字 任命	0	ある	•	ない
	1		住民ニーズの 上回るサート			、近隣自	治体と比較し	ノてニーズを	O 1	る	<ul><li>いな</li></ul>	il v	イベントを	開始して	います。		0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するため	めに、事業	業内容が必	ずしも適切とは	<b>はいえない。</b>	○ <i>い</i>	えない	<ul><li>いえ</li></ul>	る	徳島県で題性もあり				0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ノネリ化なと	、施策へ	の貢献度が	が著しく高いと	はいえない。	O 1	えない	<ul><li>いえ</li></ul>	る	向けて大	変有効な			0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中	で類似・	重複した	- 事務事業が存	存在する。	<u></u> ਰ	る	<ul><li>しな</li></ul>	い	きています	۲.		Ī	0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続を	としても成	果の向上	が期待で	<b>ごきない</b> 。		○ で	きない	● でき	る					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	付して進捗	状況が劣	<sub>うっている</sub>	らと思う。		○ 目	標に比	べて劣ってい	る	目標を十分	分達成で	きていま	す。	0	目標に比	べて劣	っている
	達世	2.	目標設定に対	対して成果	があまり	上がって	こいないと思う	j <sub>o</sub>	() b:	まり上が	っていない					Ī	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね	目標を達	成してし	いると思う。		〇 概	ね達成	している					Ī	0	概ね達成	してい	<b>3</b>
		4.	目標設定に対	付して十分	に目標を	達成して	いると思う。		• +	分達成	している						•	十分達成	してい	გ
		1.	効果に比べて	こコストが	高い。				〇高	il١	適当	á	事業効果は適当で				0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハ	ウや新た	な制度を	と活用できる。		つで	きる	<ul><li>でき</li></ul>	ない	市から野乳	菜ソムリエ	組織が	独立	0	できる	•	できない
	坐性	3.	予算・人員と	−成果の関	係で、実	施手段等	<b>まを見直す余地</b>	<b>也がある</b> 。	<ul><li>あ</li></ul>	る	○ ない		して事業がが必要で		きる体制	強化	•	ある	0	ない
		4.	電子化や契約	り方法の変	更などに	よりコス	スト削減の余地	しがある。	O あ	る	● ない	1					0	ある	•	ない
						一次評	価						•	=	次評価	•				
	評値	三点	必要性	有効性	Ė į	達成度	効率性	総合評	価	Ų	必要性	1	与効性	達成	臣	効率性	ŧ	総	合評	価
			<b>4</b>	<u>4</u> 実   〇	 現状維持	<u> </u>	<u>]       3         </u> 方法改善	A ○ 民間委詞	7 55		 拡大・充	<u> </u>	<b>4</b>   ┃○ 現状	<u>4</u>	<u> </u>	<u>3</u> 法改善	<u> </u>		A 『委言	1 65
		後の対性	○ 拡大・充		現仏推り /終期設		<u>万法以普</u> 廃止/休止	〇 民間委託	[守		縮小	·美 ()	<ul><li>○ 現状</li><li>統合/終業</li></ul>			<u> </u>			1安市	T 守
A	731	.) I.T.	○ MIR(1)	ן ווונ ם	/ 小ミ 7 <b>7</b> 7] ロメ	ite   O	<b>光</b> 亚/			$\overline{}$			評価での					の相違占	i	
<b>T-0</b>	当課			ムリエをサ	ポートして		く増加しているだ が課題です。ま													.+-
N	と事	[行		制づくりが必	多要となり	ます。事務	ちに、今後、継 8局を野菜ソム 。			5	・ノムリエ	<b>⊣</b> <⊅.	ニティ阿波	と理捞し、	・ヤツ人	57米ソ	ムリエ	・の育成い	-穷0.	<b>ひ</b> まり。
		会 事項																		

	No. <b>23</b> —	2 基本事務事業	業名 農業	フォロー	アップ事業	事務	務事業名	農業	ミフォローア	ップ事	業	公的関与	8	シート作成日	令和5年	6月9日
	部局名	産	業経済部		課名		集振興課		主務課長		置	本正和	シ	ノート作成者名	大	道 剛
	事業区分	○ 1 ソフト事			3 経常的事務				È∙負担金∙∶		車業温	営方法		直営		<b>è部委託</b>
	争未区力	○ 2 ハード事			4 施設の維持	特管理	O 6 P	内部管	雪理事務・そ		<b>学</b> 木总	苦刀丛		一部委託		甫助等
		基本構想(政策							実施計画	Ī				業の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施策							1 該当		令和	年		令和         年		設定なし
		主要施策	(2)‡	也域特性を	生かした「阿波	市ブランド	」の展開	0	2 非該当		根拠	去令等	伝統·挑單	戦・活力の阿波市農	<b>集振興事業費</b>	聲補助金交付要綱
		対象(誰を、 何を)	農業関係													
	事業の 対象・目的	目的(どういき) 対態にし												等先進的・革新 継続、発展を目		機械等の普及
PL			今年度													
AN		具体的にどの	ような活	動を行い	ゝますか。(主酒	なもの5つ	つまで)									
N		① ICTやIoT等				-										
	事業の	② 阿波市農業	業の発展	と強い農業	業づくりのための	の県単補	助への上	.乗せ	支援。							
	活動内容	③ 「ブランド育	成品目.	について	、県の各種補助	助事業の排	推進と併-	せて、	市単独による	るきめ糸	細やかな	農業の振り	興策を講	じます。		
		4														
		5														
		指標名		計算式又	は指標設定理	里由 単			令和 3	3 年度	更	令和 4		令和 5		最終目標
	数値目標	制度利用件数				<u>4</u>		標						6	6	
	(事業の目的							績						5		
	及び活動内 容の達成度							標								
	春の建成度 を測る指標)							€績  標								
								<u>惊  </u>  {績								
	予算費目	会 計							水産業費		項 1	農業費		H 5	農業振り	<b>服费</b>
	了开具口	五川	一个	和 3	年度決	算一令		成。 4	年度決算	·   수	<u>  垻       </u> ì和		度予算		備考	<del>代</del>
		国庫支出		тн с		<del>开   12</del> 千円	18	•	<u> </u>	_	TH TH	<u> </u>		円 第2次阿波市		画 後期計画
			金			千円				_			チョ	一に伴い実施		
			債		,	千円			千	円			千日	刑 新規作成		
D	直接事業費	その他特定財	·源			千円			千	円			千日			
0			源			千円			5,710 千	円		5,	500 千日	円		
		計(A)			0	千円			<b>5,710</b> 千日	円		5,	<mark>500</mark> 千日	円		
		正職員工数·経	費	人		千円 0.5	500 人		<b>3,021</b> 千日	円 0.	500 人		<mark>030</mark> 千日	円		
	人件費(B)	会計年度任用職員職	<b>能</b> 種	Ą	参与			参与				参与				
		会計年度任用職員工数:	経費	人	0	千円 0.2	200 人		<b>594</b> 千日		200 人		<mark>631</mark> 千日	円		
	全体事	業費(A+B)			0	千円			<b>9,326</b> 千日	円		9,	<mark>161</mark> 千日	円		

					ェック項目						一岁	欠評価	1	_	-次評価の	の説明	月		二次	評価	i i
		1.	市が実施しな主体があり、				が確保できる等 ジ響は大きくな		実施	0	少ない	•	大きい	展を目指	美である農 すため、M	也市町	「にはな	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	祝の中、次年	年度以降実	施す	る緊急性が認	図められ	ない。	0	ない	•	ある	い本市独立事業で	は自の施策	であり	リ、必要	0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の向	上のために、	現在の手段	、方	法等の改善の余	余地がある	る。	0	ある	•	ない	は事業し	9 0			0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ			:隣自	治体と比較し	ノてニー:	ズを	0	いる	•	いない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	実現するために	、事業内容	が必	ずしも適切とに	はいえなし	い。	0	いえない	•	いえる	事業を継	送続実施す 持発展に有	ること	:は、農 t . ま	0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ネリ化など、)	施策への貢献	献度な	が著しく高いと	はいえない	い。	0	いえない	•	いえる	た、近年	の農業環境	境の変	を化に対	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	施策の中で類	類似・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	0	する	•	しない	一応できる 進んでい	補助金メニ ゝます。		つくりが	0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	しても成果の	の向上が期	待で	<b>ごきない</b> 。			0	できない	•	できる					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		(	0	目標に比	べて劣	っている		だ目標を選 、事業を網			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	して成果がる	あまり上が	って	こいないと思う	<b>5</b> 。	(	0	あまり上が	がってい	ない	すること	こより、農	業の終		0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	けして概ね目	票を達成し	てじ	いると思う。		(	<u> </u>	概ね達成	<b>してい</b>	<u>る</u>	を図って	いきます。			•	概ね達成	してい	<u>る</u>
		4.	目標設定に対	して十分に	目標を達成	して	いると思う。		(	0	十分達瓦	戈してい	る					0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高い	, <b>\</b> <sub>0</sub>					0	高い	•	適当		事業の実 代ニーズの			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	のノウハウ	や新たな制	度を	活用できる。			0	できる	•	できない	できる補	助金内容の	の見画	重しや新	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	:成果の関係	で、実施手	段等	₹を見直す余 <sup>地</sup>	也がある。	0	•	ある	0	ない		ューづくりる があります		手進めて	•	ある	0	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更を	などにより	コス	く ト削減の余地	しがある。	0	0	ある	•	ない					0	ある	•	ない
					— <u>;</u>	次評	価								Ξ	次評	価				
	評値	甲	必要性	有効性	達成度	ИHГ	効率性	総	総合評価	Ш	,	必要怕	生	有効性	達成原	芟	効率性	生	総	合評	·価
	<b>△</b> ½	を の	<b>4</b> <b>③</b> 拡大·充	<b>4</b> 実	3   :	0	<u>     3          </u> 方法改善		<u>A</u> 間委託	笙	0	4 垃 オ	<u> </u> ₹•充実	<b>4</b> 	3   * 維		<u>        3   </u> 方法改善	É		A 表	 £笙
		句性			以 以 以 以 則 設 定	$\frac{\circ}{\circ}$	<u>///                                  </u>	0 10	中女化	<del></del>		7.		4 . 4 4 4 4			<u> </u>			134	
C		<u> </u>	<u> </u>	O WILL	(77) HX/C		<i>70—7</i> 111—				Ť	11II 3		欠評価での					の相違点	į	
ACTIO		画の	近年の農業環 迅速に展開す			こ対	応する阿波市独	独自の有	「効的な)	施策		ᆓᇽᇽ	の亦ん	に対応した	車業内容(	生の目	∃古↓ た凗	<b>!</b> か <b>:</b> *	ਰ ਰ		
N	と事 計	革案 と行 画	随時、事業内 す。	ーーー 容の見直しや	新たなメニュ	1-1	づくりを進め、タ	効果的な	施策を排	生進(		木·冰·5	の変化	i ニメリルいし/こ	<b>ず木/⅓分</b> ⁵	<del>17</del>	で回して足	<u>-</u> ₩,	7 0		
		員会 i事項																			

	No. 23 —	3 基本事務事業	名 特産	品認証P	R事業	事務	事業名	特産品認	!証PR事	業		公的関与	8	シート作成	日 令和	□5年6	月9日
	部局名	産美	業経済部	部	課名	農業	振興課	主	務課長	名	岡	本正和	S	レート作成る	5名	川原	歩夢
	事業区分	● 1 ソフト事			3 経常的事務			助金·負		9	李洱	営方法	1				邻委託
	争未应力	○ 2 ハード事			4 施設の維持	<b>持管理</b>	〇 6 内	部管理事	幕務∙そ0	D他 <sup>事</sup>	未進	呂刀広		一部委託		4 補	功等
		基本構想(政策							拖計画					業の開始・			
	総合計画	基本計画(施策		農業の振				● 1 該			·和	年		令和			足定なし
		主要施策	(2)±	也域特性を	生かした「阿波	市ブランド.	の展開	○ 2 非	該当	村	見拠え	<b>去</b> 令等	伝統·挑	戦・活力の阿波	市農業振興	事業補助	金交付要綱等
		対象(誰を、 何を)	業者、	加工品製造	<b>造者</b>												
	事業の 対象・目的	目的(どうい り) 対態にし	<b>晨終的</b>	「応援しますで、ブラント	す!阿波市で育っ 『産品の創出や更	ったいいもの 更なる生産意	りを」スロ- 意欲の喚起	-ガンとして ⊒と収益の:	、頑張る空 曽加を目打	主産者の熱 旨すとともに	い思して、"農	ハが込めら 業立市・阿	れた認証 波市"の	証品を広く市場 ロイメージアッ	易、消費者 プを図りま <sup>.</sup>	ヘアピー す。	-ルすること
PL			今年度														
AN		具体的にどの。															
N		① 本市で生産	される	農産物やカ	ロエ品の開発支	援並びに	認証。										
	事業の	2															
	活動内容	3															
		4															
		5															
		指標名		計算式又	は指標設定理	■由 単位			3 3	年度	4	令和 4	年度	令和	5 年度	Į	最終目標
	数値目標	特産品認証数				品	旦										30(R6)
	(事業の目的						天			26				28			
	及び活動内 容の達成度						目										
	春の達成度 を測る指標)						実										
	CM 010 M/						目										
	予算費目	会 計						<sup>稹</sup> 農林水產	*	項	1	農業費			5 農第	生性師	弗
	了异貝口	五 引	令	和 3	年度決				<del>まり</del> を決算	令和			度予算			考	貝
		国庫支出:		<u>ти о</u>	500 =		'Н ¬		<u>をが来</u> 00 千円		•			円 第2次阿			後期計画
			<u>显</u> 金						千円					円に伴いる			
			<u> </u>			千円 千円			<u> </u>				<u> </u>	一 阿波市に	いいもの目	医壶促	准•6次化
D	直接事業費	その他特定財				千円			千円	1			<u>·</u>	_ 推進連捷	隽事業か	ら特産	品認証PR
Ō			源			千円		2.9	12 千円	1		4.8	366 ∓	☆ 争業に彡	<b></b> と更。KP	ミこつい	へても県外
		計(A)			4,505 =				12 千円			•	<mark>366</mark> ∓	一でのPR	回剱を見 みの目標	,直した	ため認証 -
		正職員工数·経	費 0.5	500 人	3,044		00 人	3,0			人		<mark>030</mark> ∓	nn <del>4</del> 77 (/ ) a	プロ日標	こ変り	-0
	人件費(B)	会計年度任用職員閘	战種				,										
		会計年度任用職員工数·約	经費	人	0 =	千円	人		0 千円		人		<b>0</b> 千	円			
	全体事業	業費(A+B)		,	7,549	千円		6,4	33 千円			8,3	<mark>396</mark> ∓	円			

					ック項目						一次記	平価		_	-次評価の	の説明	月		二次	評価	5
		1.		なくても、公平 事業を廃止・					施 〇	少な	il)	<ul><li>大</li></ul>	きい	意欲の喚	産品の創出 は起、また『	可波市	<b>うのイ</b>		少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、次年	F度以降実	施す	る緊急性が認	恩められなり	<b>∵</b> 。 ○	ない		<ul><li>ある</li></ul>	3	メージア: な事業で	ップに繋げ ま	るため	めに必要	0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の「	向上のために、	現在の手段	、方	法等の改善の急	余地がある。	0	ある		<ul><li>なし</li></ul>	۸,	は事未じ	9 0			0	ある	•	ない
		4.		の低下がみられ ごスとなってし		隣自	治体と比較し	てニーズ	<i>E</i> ○	いる		● いた	はい					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内容	が必	ずしも適切とは	<b>まいえない</b> 。	0	いえ	ない	<ul><li>いえ</li></ul>	える		続的に実			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ノネリ化など、 カ	<b>施策への</b> 貢南	状度か	著しく高いと	はいえない。	0	いえ	ない	<b>●</b> いき	える	業生産意	欲の喚起	l, <i>また</i>	-阿波市	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中で数	頁似・重複	した	:事務事業が存	存在する。	0	する		<ul><li>した</li></ul>	ほい	のイメーン 事業です	ジアップに ·。	繋が	6有効な	0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	をしても成果の	つ向上が期	待で	きない。		0	でき	ない	● でき	<b></b> ₹る					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標	に比べ	て劣って	いる		品が阿波 証され、そ			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果があ	ちまり上が	って	いないと思う	<b>;</b> 。	0	あまり	り上がっ	ていない			しています		אווואני	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目標	票を達成し	てい	ると思う。		•	概ね	達成し	ている		1				•	概ね達成	してい	გ
		4.	目標設定に対	対して十分に目	目標を達成	して	いると思う。		0	十分	達成し	ている						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが高い	١,				0	高い	١	● 適	当		目的を効には、斬業			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハウヤ	5新たな制	度を	·活用できる。		0	でき	る	● でき	きない	ど、他市	町から実施	色して	いる類	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	と成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余地	しがある。	0	ある		<ul><li>なし</li></ul>	,١	似事業の 必要があ	)ノウハウマ 。ります。	を取り	入れる	0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更な	ょどにより	コス	ト削減の余地	也がある。	0	ある		<ul><li>なし</li></ul>	,١					0	ある	•	ない
					— <u>ұ</u>	欠評	価								Ξ	次評·	価				
	評化	甲	必要性	有効性	達成度	F	効率性		評価		必	要性	1	有効性	達成原	茰	効率性	生	総	合評	価
	<u> </u>	多の	4 <b>⑥</b> 拡大·充	<b>│  4</b> E実	3  :維持	$\overline{}$	<b>4</b> 方法改善		A 委託等			<u>4</u> 広大・3	2 上	<b>4</b> ┃○ 現状	<u>3</u>   		<u>4</u> 方法改善	É		A 引表記	· 4 生
		句性	○ 縮小	□ 統合/終			廃止/休止	O KIRI	<del>文元寸</del>			<del>四ハ )</del> 宿小		統合/終			<u> </u>			13 3 1	
C			0 1.2	TO WELL									二次		指摘事項				の相違点	į	
ACTION		面の	特産認証品の	か拡大や今後に	おける効果	具的F	PR方法を検討	する必要が	゙ありま	す。				こ行い、"鳥	農業立市・	阿波ī	市"のイメ	ージフ	アップを図	]り販	路の拡
N	وع	革案 実行 ·画	とによって、ブラ	知徹底を図り、特ランド産品の創出 サ同で立ち上げた	を図る必要:	があり	ります。				大に	繋げます	۲.								
		員会 事項																			

	No. <b>23</b> —	4 基本事務事業			<b>F</b> 創造事業		事務事業	と 農	山漁村未到	k創造	事業	公的関与	6 シ	一ト作成日	令和5年	6月12日
	部局名	産業	<b>終経済音</b>	iß.	課名		農業振興	課	主務認	長名		岡本正和		−ト作成者名		道剛
	事業区分	○ 1 ソフト事			3 経常的事務				金·負担金			運営方法	1 直			部委託
	争未区力	○ 2 ハード事	•		4 施設の維持	宇管耳	里	6 内部	管理事務·		他	建占刀丛		-部委託		助等
		基本構想(政策							実施計	画				€の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施策						•			令和		<b>~</b> 令	·和 年	☑ 期間	設定なし
		主要施策	(2)均	也域特性を	生かした「阿波	市ブ <del>·</del>	ランド」の原	展開 🤇	2 非該当	á	根	処法令等	徳島県農林水産政策	策関係事業補助金交付要綱・阿	<b>「波市農林水産業振興</b>	事業費補助金交付要綱など
		対象(誰を、 何を)	業協同	組合、安定	定的かつ持続的	勺経営	営体が主体	本となり糸	組織する団	本、農業	業生産法	人等				
		目的(どうい う状態にし	終的	ブランド品	目の生産力を	維持	、増強する	る取り組	みや魅力を	活かす	ト取り組み	を支援し、均	也域農業の	)発展振興を図	ります。	
PL		たいのか) 今	年度													
AN		具体的にどのよ														
N		① 地域農林水													を支援しまっ	す。
	事業の	② ブランド産地												す。		
	活動内容	③ 地産地消の														
		4 食糧自給率														
		⑤ 農山漁村の資						、農林水								
		指標名		計算式又	は指標設定理	里田	単位		1 分和	3 年		令和 4		令和 5		最終目標
	数値目標	制度利用者数					件	目標 実績			13		12 10		12	
	(事業の目的							<del></del>			13		10			
	及び活動内 容の達成度							実績								
	を測る指標)							<u>天限</u> 目標								
								実績								
	予算費目	会 計		一般	会計		款		林水産業費	ŧ	項	1 農業費		目 5	農業振興	理費
			令	和 3	年度決	算	令和	4	年度決	算	令和	5 年	度予算		備考	
		国庫支出会	金		:	千円				千円			千円			
		県 支 出 🕏	金		70,408	千円			29,626	千円		7	.995 千円	1		
	直接事業費		責		:	千円				千円			千円	]		
D	但按书本貝	その他特定財源	亰		:	千円				千円			千円			
0			亰		2,019				1,779				.177 千円	]		
		計(A)			72,427				31,405				. <mark>172</mark> 千円			
		正職員工数·経動		600 人	3,653	千円	0.600	人	3,625	千円	0.600	<u>3</u>	<mark>.636</mark> 千円	1		
	人件費(B)	会計年度任用職員職												1		
	A	会計年度任用職員工数·経	費	人	0			人		千円	,		0 千円	1		
	全体事業	業費(A+B)			76,080	千円			35,030	千円		12	.808 千円			

				チェ	ンク項目				一次	マ評価		_	次評価の	説明		二次	評価	
		1.				が確保できる等 影響は大きくな		0	少ない	① 大き	÷۱۱			力を維持・増 農山村の魅	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	犬況の中、次年	F度以降実施	画する緊急性が認	3められない。	0	ない	<ul><li>ある</li></ul>		力を活かしる必要があ		みを支援す	0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の向	句上のために、	現在の手段、	方法等の改善の名	戻地がある。	•	ある	○ ない	١	る必安から	めりまり。		•	ある	0	ない
				)低下がみられ ごスとなってし		韓自治体と比較し	<i>、</i> てニーズを	0	いる	<ul><li>いな</li></ul>	:11				0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を写	実現するために	、事業内容が	「必ずしも適切とは	はいえない。	0	いえない	● いえ	.る			の整備により スト削減が	0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	/ネリ化など、カ	を策への貢献!	度が著しく高いと(	<b>まいえない</b> 。	0	いえない	いえ	.る	図れます。			0	いえない	•	いえる
CH	効性	3.	市が実施する	施策の中で数	頁似・重複し	た事務事業が存	在する。	0	する	<ul><li>しな</li></ul>	L١				0	する	•	しない
E		4.	事業の継続を	としても成果の	つ向上が期待	きできない。		0	できない	● でき	3				0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	付して進捗状況	兄が劣ってい	いると思う。		0 1	目標に比	べて劣ってし	いる			達成できて 周知徹底を	0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	付して成果があ	あまり上がっ	ていないと思う	0	O 8	あまり上か	べっていない		図ります。		回知販売で	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	付して概ね目標	票を達成して	いると思う。		• †	既ね達成	している					•	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	付して十分に目	目標を達成し	ていると思う。		0 -	十分達成	えしている					0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	こコストが高い	١,			0 :	高い	● 適当	¥	必要な機		の整備等によ	0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	*のノウハウ	か新たな制度	₹を活用できる。		0	できる	● でき	ない	715207	λ] — I□13 E	31067	0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員と	成果の関係で	ご、実施手段	と等を見直す余地	ぴある。	0	ある	● ない	١				0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更な	よどによりコ	スト削減の余地	oがある。	0	ある	● ない	١				0	ある	•	ない
					一次	評価							_;	欠評価	•			
	評値	五点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評	価	ļ	<b>必要性</b>	1	有効性	達成度		生	総	合評	価
			3	4 	3	4   + + + + +	A	7 Mz		3 ++ + <del>*</del>	<u> </u>	<b>4</b>	3	<b> 4</b> ○ 方法改	¥		A ]委訳	r <i>tele</i>
		後の性	○ 拡大・充	漢		○ 方法改善 ○ 廃止/休止	〇 民間委託	<del>【寸</del>	0	拡大·充縮小	:天 [()	<ul><li>● 現状</li><li>統合/終</li></ul>		<ul><li> 方法改表</li><li> 廃止/休</li></ul>		○ 民間	少百	[守
A	731	311	0 1111				1° ± 1771140 7. ±	≥·π·±ι						及び一次評		D相違占	<u> </u>	
<b>T-0</b>	当課	題	できるよう支持 ブランド品目の	爰する必要があ	ります。 st、増強するB	き者のニーズに応 取り組みや農山村			徳島	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	)農業	<b></b>	であるため	、市内の農業				舌用でき
N	計	<b>ミ行</b> 画	ブランド品目の	の生産力を維持	寺、増強する!	取り組みなどを支	援します。		るよ	う周知や	支援?	を行います	0					
	委員 指摘	€会 事項																

	No. 23 —	5 基本事務事業名	環境保全型	農業推進事業	事務事業	に は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	t保全型農業ī	直接支払事	業公的関与	8 シ	一卜作成日 令和5	年6月12日
	部局名	産業	経済部	課名	農業振興		主務課長		岡本正和	シー	-卜作成者名	永井勝大
	事業区分	○ 1 ソフト事業		3 経常的事務事			金・負担金・支		業運営方法	✓ 1 直		全部委託
	争未区力	○ 2 ハード事	•	. " " " " " " " " " " " " " " " " " " "	理	6 内部管	管理事務・その	の他 <sup>サッ</sup>	长连古刀丛			補助等
		基本構想(政策					実施計画				の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施策					1 該当	令		~ 令		間設定なし
		主要施策	(2)地域特性	を生かした「阿波市フ	ブランド」の用	展開   〇	2 非該当	根	拠法令等	農業の有す	る多面的機能の発揮の	促進に関する法律
		対象(誰を、 何を)	<b>業者</b>									
	事業の 対象・目的	目的(どうい 最 う状態にし	終的 環境保全	全に効果の高い営農	<b>ほうかい とうりょう とうりょう とうしょう はいまた ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま まままま ま</b>	爰すること	こにより、地球注	温暖化防止	や生物多様性	をの保全に	貢献します。	
PL		たいのか) 今	年度									
AN				ハますか。(主なも								
N		_		巴料•化学合成農薬	を使用しな	い取り組	み)					
	事業の	② カバークロッ		ナけ								
	活動内容	③ 冬期湛水の	実施									
		4										
		5	= 1 /r/r = 12 +		1 22 11 1		A 10 0	<i>F</i>	A 7- 4	<i>F</i>	A10 - 66	
		指標名	計算式.	又は指標設定理由	単位	目標	令和 3	<u>年度</u> 45	令和 4	年度 一	令和 5 年度	最終目標
	数値目標	取り組み面積			ha	<u>日保</u> 実績		36				
	(事業の目的 及び活動内					<del></del>		30		3		4
	容の達成度	取り組み件数			件	<u></u>				4		<del>*                                     </del>
	を測る指標)					<u></u>				•		
						実績						
	予算費目	会計	一般	会計	款	6 農林	木水産業費	項	1 農業費	•	目 5 農業排	長興費
			令和	3 年度決算	令和	4	年度決算	令和	5 年	度予算	備考	
		国庫支出金		159 千円			732 千円			960 千円		
		県 支 出 金		79 千円			366 千円			480 千円		
	直接事業費	地 方 債		千円			千円			千円		
00	四汉子水风	その他特定財源		千円			千円			千円		
				79 千円			366 千円			480 千円		
		一般財源	`				1 40 4					
		計(A)		317 千円			1,464 千円			920 千円		
	↓供弗/p)	計(A) 正職員工数·経費	0.200 人			人	1,464 千円 1,208 千円			920 千円 208 千円		
)	人件費(B)	計(A)	1 0.200 人	317 千円	0.200	人 人	-	0.200				

				ック項目				一次評	価	_	·次評価 <i>0</i>	)説明		二次	評価	
		1.	市が実施しなくても、公平 主体があり、事業を廃止・				<ul><li>少な</li></ul>	ווי (	大きい		安全な生だ 要がありま	産環境を保 す。	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年	度以降実施で	する緊急性が認	思められない。	○ ない	(	ある				0	ない	•	ある
	女性		住民満足度の向上のために、				ある	(	ない				0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの低下がみられ 上回るサービスとなってい		自治体と比較し	ノてニーズを	<ul><li>いる</li></ul>	(	いない				0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実現するために	、事業内容が必	ひずしも適切と!	<b>まいえない</b> 。	○ いえ	ない(	いえる			安全性が求め 肥料や農薬の		いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など、旅	施策への貢献度	が著しく高いと	はいえない。	いえ	ない(	いえる	誤使用に	よる生産環境	竟の破壊を防 実施することで	$\bigcirc$	いえない	•	いえる
CH	性	3.	市が実施する施策の中で類	質似・重複し7	た事務事業が存	存在する。	<ul><li>する</li></ul>	(	しない	安全・安心		消費者に供給		する	•	しない
E		4.	事業の継続をしても成果の	)向上が期待	できない。		○ でき	ない(	できる	てきる長ろ	で又抜しょ	9 0	0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状況	記が劣っている	ると思う。		○ 目標	に比べて	劣っている			料システム戦 、環境保全型		目標に比	べて劣	っている
	達成	2.	目標設定に対して成果があ	うまり上がっ <sup>-</sup>	ていないと思う	<b>5</b> 。	( あま!	り上がって	こいない	農業への	取り組みが	が少しずつ増		あまり上が	っていた	はい
	成 度	3.	目標設定に対して概ね目標	栗を達成してい	ハると思う。		○ 概ね	達成して	いる	てると想	定されます	0	0	概ね達成	している	3
		4.	目標設定に対して十分に目	標を達成し	ていると思う。		● +分	を達成して	こいる				•	十分達成	している	3
		1.	効果に比べてコストが高い	١ <sub>°</sub>			○ 高い	, (	適当			い事業を実 助金申請手	0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハウギ	新たな制度	を活用できる。		● でき	გ (	できなし		雑になって		•	できる	0	できない
	坐性	3.	予算・人員と成果の関係で	、実施手段等	等を見直す余地	也がある。	<ul><li>ある</li></ul>		ない				•	ある	0	ない
		4.	電子化や契約方法の変更な	こどによりコン	スト削減の余地	也がある。	ある	(	ない				0	ある	•	ない
				一次訓								欠評価				
	評值	西点	必要性     有効性       4     4	達成度	効率性	総合評	価		要性 4	有効性	達成度 <b>4</b>		·	総	合評	価
	今後	を の	T T	<b>  4</b> 犬維持      ○	<u>      2           </u> 方法改善	A ○ 民間委i	£等		<u>•                                    </u>	<b>4</b> 【〇 現初		<b> 2</b> ○ 方法改				· 等
Λ		句性	○ 縮小 ○ 統合/終		廃止/休止	<u> </u>			小(			<u>○                                    </u>	-			
AC			<b>严持</b> 但人到曲米。[5]		-v.++ = 4	<b>かさしょ「2.1</b> °	U O O W		=	欠評価での	指摘事項	及び一次記	平価と	の相違点	į	
TIO	当課	即り	環境保全型農業の取り組み システム戦略」の目標にある していきます。				<b>Ě推進を</b>	第3次	河波古農	を に 棚 計 面 /	- 보づき ]	取り組みを進	めて名	テキキオ		
N	改革と写計		第3次阿波市農業振興計画 策について検討していきます		意保全型農業の	取り組みを推込		おっかり	∵」が入りが交え	て が 光口 凹し	こ金ッで、	17 7 114 7 7 で 7年	:w/ C1	16010		
		員会 i事項														

	No. 23 —	6 基本事務事	業名 担い	手育成支援	爰事業 組織育成	は型 事務	事業名	担いき	手育成支援事	業 組織	<b>背成型</b>	公的関与	8	シート作	成日	令和5年	6月12日
	部局名	産	<b>業経済</b>	部	課名	農業	<b>捷興課</b>		主務課長		岡	本正和	3	レート作成	は者名	松	:浦 凪
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務				∶∙負担金∙支		車業涯	営方法					部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持	管理	○ 6 ₱	内部管	理事務・その	の他	<b>学</b> 未廷	苦刀丛		一部委訂		☑ 4 褌	助等
		基本構想(政							実施計画					業の開始	ì·終了		
	総合計画	基本計画(施		農業の振					1 該当		令和	年		令和			設定なし
		主要施策	(2):	地域特性を	生かした「阿波で	市ブランド	」の展開	0:	2 非該当		根拠	去令等	伝統·挑	戦・活力の阿	波市農業排	<b>辰興事業費</b>	補助金交付要綱
		対象(誰を、 何を)	農業関係	者													
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	農業経営	の法人化や集落	客営農組	織の設立	を目打	旨すために必	要な取り	り組みを	支援しま	す。				
PL		たいのか)	今年度														
AN		具体的にどの	りような活	5動を行い	ますか。(主な	よもの5つ	oまで)										
N		0			を支援します。												
	事業の	② 集落営農	組織の設	立を支援し	<b></b> します。												
	活動内容	3															
		4															
		5															
		指標名		計算式又	は指標設定理	由単			令和 3	年度	-	令和 4	年度	令	和 5 4	年度	最終目標
	ᄽᇉᄓᅑ	農業法人化又は賃	集落営農組			数		標						1		1	
	(事業の目的	織数 ————————————————————————————————————						績						0			
	及び活動内 容の達成度							標績									
	を測る指標)							· 根   標									
								績									
	予算費目	会 計		一般:	<b>슺</b> 計				振興費	1	項 1	農業費			1 5 月	農業振興	祖書
	77721		令	·和 3		第 令		4	年度決算	令和			度予算		1 0 1/2	備考	<del></del>
		国庫支出				千円			千円		· ·				阿波市網		画 後期計画
		県 支 出	金		7	千円			千円				千	回に伴う	実施計i	画の変	更により、集
	直接事業費	地 方	債		7	千円			千円				千	<b>戸 落営</b> 農	是組織等	推進事	業と農業法
D	但按爭未貝	その他特定則	け源		7	千円			千円				千	円人組織	【化等促 6 士捋束	進支援	事業を担い
0		一 般 財	源		7	千円			千円				250 ∓	一 一 統一。	く又抜争	来 祖和	職育成型に
		計(A)			0 =				0 千円				<mark>250</mark> 千	円			
		正職員工数·		人	0 =	千円 0.1	00 人		604 千円	0.10	00 人		<mark>606</mark> ∓	円			
	人件費(B)	会計年度任用職員															
		会計年度任用職員工数	牧·経費	人	0 =		人		0 千円		人		<u>0</u> ∓				
	全体事業	業費(A+B)			0 =	千円			604 千円				<mark>856</mark> 千	円			

					ツク項目				一次	評価		_	·次評価の	D説明			二次	評価	
		1.				が確保できる等 影響は大きくな		○ 少な	ない	● 大き	il)	基幹産業 展を目指	すための:	本市独	自の施	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	状況の中、次年	F度以降実施で	する緊急性が認	見められない。	〇 ない	١	<ul><li>ある</li></ul>		策であり、	必要な事	業です	•	0	ない	•	ある
	生性	3.	住民満足度の向	句上のために、	現在の手段、ス	ち法等の改善の名	余地がある。	🔾 ಹಕ	5	● ない	1					0	ある	•	ない
		4.		D低下がみられ ごスとなってい		自治体と比較し	ノてニーズを	<ul><li>いる</li></ul>	)	いな	١L١					•	いる	0	いない
		1.	施策の目的を写	実現するために	、事業内容が必	ひずしも適切と!	<b>はいえない。</b>	○ <i>い</i> え	ない	● いえ	る	農業を法人を受けるため				0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	/ネリ化など、カ	施策への貢献度	が著しく高いと	はいえない。	いえ	ない	<ul><li> เกล.</li></ul>	る	は、農業の 継者不足の	問題に対応	する集落	営農組	•	いえない	0	いえる
CH	性	3.	市が実施する	る施策の中で類	頁似・重複し7	た事務事業が存	存在する。	<u></u> ਰਫ	5	<ul><li>しな</li></ul>	い	織の育成も 年度を最後	に申請がなり	いため、		0	する	•	しない
E		4.	事業の継続を	としても成果 <i>の</i>	つ向上が期待で	できない。		○ でき	ない	● でき	る	減少している	るものと考え	ます。		0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	付して進捗状況	兄が劣っている	ると思う。		○ 目標	票に比/	べて劣ってい	る	現在、目標で を継続実施				0	目標に比べ	べて劣	っている
	達世	2.	目標設定に対	付して成果があ	あまり上がっ <sup>-</sup>	ていないと思う	j <sub>o</sub>	あま	り上が	っていない		農業の維持織の育成に				•	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	付して概ね目標	票を達成して(	いると思う。		○ 概ね	達成し	している		事業も並行 図っていきる				0	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	付して十分に目	目標を達成し	ていると思う。		一 十分	全成	している		とは、農業の	)維持発展に	こ有効で	す。	0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	こコストが高し	١,			○ 高に	۱,	適当	á	担い手や事業を行				0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	*のノウハウ*	5新たな制度	を活用できる。		○ でき	<b>5</b>	● でき	ない	の事業継				0	できる	•	できない
	坐性	3.	予算・人員と	成果の関係で	ご、実施手段	等を見直す余地	也がある。	🔾 ಹಕ	5	● ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	り方法の変更な	こどによりコス	スト削減の余地	也がある。	೦ ಹಕ	5	● ない						0	ある	•	ない
					一次訓								=	次評価	<u> </u>				
	評值	西点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評	価	业	要性	7	有効性	達成原	隻	効率性	生	総	合評	価
	<b>△</b> %	を の	3 ○ 拡大·充	3   ● 現状	<b>  2</b> 犬維持   ○	<u>  4</u> 方法改善	C ○ 民間委i	4等	0	<u>3</u> 拡大∙充	<u> </u> 宝		<u>2</u> ·維持	<u> </u>	4 ī法改善	皇		<u>C</u> ]委記	f 笙
A		句性	○ 縮小	<u> </u>	_		〇 民间安日			縮小	Ô	統合/終			<u> </u>		<u> </u>	1 X II	
AC						独自の有効的	た協策を迅速に	- 展開す				評価での					の相違点	į	
TIO			る必要があり	ます。 に関しては、取		から、縮小する			業と	の法人化 考えてい:	こにつ ます。	いては経	営の大規	関化に	伴ってく	るもの	で、今後	باخخ	
N	وع	革案 実行 画	補助金内容 <i>0</i>	)見直しや新た	なメニューづく	りを進め、効果	的な施策を推進	進します。	まず			継者不足0							
		員会 i事項																	

	No. <b>23</b> —	7 基本事務事	業名 中山	間地域等直	፤接支払交付金 <b>፯</b>	事業 事	務事業	名 中山	Ⅰ間地域等圓	直接支	払交付金	事業	公的関与 2	シー	ト作成日	令和5年	F6月12日
	部局名	産	業経済	部	課名	農	業振興詞	果	主務認	果長名	1	岡ス	本正和		作成者名		〈井勝大
	事業区分	<ul><li>1 ソフト事</li></ul>			3 経常的事務				金·負担金			業 電	営方法 🖳	1 直営	-		全部委託
	争未色力	○ 2 ハード			4 施設の維持	持管理	<b>6</b>	内部	管理事務		他	木庄			逐託		補助等
		基本構想(政治							実施計	·画					開始∙終		
	総合計画	基本計画(施		農業の振				<b>O</b>	1 該当		令		年 ~	令和			聞設定なし
		主要施策	(3)	農用地の	(保全			0	2 非該当	<u> </u>	根	拠法	令等 農業(	り有する	多面的機能	もの発揮の仮	進に関する法律
		対象(誰を、 何を)	集落協定	により5年	間の農業生産	活動等を	・行う組織	哉									
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	農業生産	条件が不利な「	中山間地	地域にお	いて、耒	讲作放棄 <i>0</i>	発生	を防止し.	、農用	地の多面的機	能能の研	筐保を図り	ます。	
PL		たいのか)	, , , , , ,		に基づく多面的				備に向けた	-取り約	組みに対	し交付	†金を交付し、;	継続して	て事業を推	<b>進します</b> 。	
AN		具体的にどの			ゝますか。(主な	なもの5	つまで)										
N		① 耕作放棄[															
	事業の	② 水路・農道															
	活動内容	)	能の増進	(景観作物	物の作付や周辺	□林地の	下草刈り	<u> </u>	トープの確	保なる	ビ)						
		4															
		5		= 1 tete 1: =		m I I 22	4.11		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		<del></del>	^			A T	- <del>-</del>	
		指標名	1	計算式又	は指標設定理	里田	单位	□ <del> </del> ##	令和	3 :		Ť	和 4 年度		令和 5	年度 一	最終目標
	数値目標	協定参加者					_	目標 実績			560 556						
	(事業の目的 及び活動内							<del>天</del> 碩_ 目標			250			250		250	
	及び活動内 容の達成度	事業対象面積						<del>口惊_</del> 実績			239			237		200	4
	を測る指標)							<u>天順</u> 目標			200			207			
								<u>工徒</u> 実績									
	予算費目	会 計		一般	会計	·			木水産業領	費	項	1	農業費		目:	農業振	興費
			令	`和 3	年度決.	算 右	介和	4	年度決	:算	令和	5	年度予	算		備考	
		国庫支出	金		=	千円				千円				千円			
		県 支 出	金		27,182 <sup>-</sup>	千円			27,317	千円			27,618	千円			
	直接事業費	地 方	債		=	千円				千円				千円			
D	<b>但</b> ]女尹未貝	その他特定財				千円				千円				千円			
0		一般財	源		11,498				11,165				11,375				
		計(A)			38,680				38,482				38,993				
		正職員工数·紹		500 人	3,044	千円 0	.500 人	、 <u> </u>	3,021	千円	0.500	人	3,030	千円			
	人件費(B)	会計年度任用職員															
	4 11 ==	会計年度任用職員工数 <b>業費</b> (A+B)	·経費	人	0		人	\		千円		人		千円			
					41,724	T m			41,503	エロ			42,023	エロー			

				チェ	ック項目					一次	:評価		_	次評価の	の説明			二次	評価	
		1.		なくても、公平 事業を廃止・	4性・公正				〇 少	ない	● 大き	٤L١	耕作放棄	地発生防	止等0	)活動	0	少ない		大きい
	必	2.		<del>- 事業を廃止・</del> 犬況の中、次年					<ul><li>ない</li></ul>	ر، د	<ul><li>ある</li></ul>	)	により、多 ります。	· <b>田</b> 的機能	ジリコス	<b>進を凶</b>	0	ない	0	 ある
	要性	3.	住民満足度の同	句上のために、	現在の手段	、方法	去等の改善の余	余地がある。		 გ	<ul><li>ない</li></ul>						Ō	ある	_	ない
		4.		D低下がみられ ごスとなってし		:隣自	治体と比較し	,てニーズを	O 1/2	გ	● いな	il)					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を写	実現するために	、事業内容	が必っ	ずしも適切とは	はいえない。	○ w	えない	<ul><li>● いえ</li></ul>	.る	上流部の の多面的				0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	レネリ化など、放	<b>施策への</b> 貢献	献度が	著しく高いとに	はいえない。	○ <i>い</i> ź	えない	<ul><li>いえ</li></ul>	.る	住民の生	命・財産と	≥豊か≀	な暮らし	0	いえない	•	いえる
C	効 性	3.	市が実施する	る施策の中で数	頁似・重複	した	事務事業が存	在する。	する	る る	<ul><li>しな</li></ul>	:۱۱	が守られる				0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続を	としても成果 <i>の</i>	つ向上が期	待で	きない。		<u>ਂ</u>	きない	● でき	る	が見込ま	れます。	_		0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣って	いる。	と思う。		〇 目 <sup>‡</sup>	標に比	べて劣ってし	いる	平地に比ぐ 耕作放棄の				0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果があ	ちまり上が	ってし	いないと思う	j <sub>o</sub>	<ul><li>あま</li></ul>	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	っていない		集落協定に	こより5年間	引継続し	て多面	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目標	票を達成し	てい	ると思う。		● 概	ね達成	している		策です。集	落協定に	定められ	1た事項	•	概ね達成	してい	る
	}	4.	目標設定に対	対して十分に目	標を達成	して	いると思う。		O +:	分達成	している		については	、概ね達用	灭してし	います。	0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが高い	١,				〇 高	ر،	● 適当	<b>当</b>	事業の実				0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハウヤ	5新たな制	度を	活用できる。		● で	きる	○ でき	ない	綱・要領に た、独自の	りシステム	ℷで管₹	里する	•	できる	0	できない
	率性	3.	予算・人員と	上成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余地	がある。	<u></u> ත්	<b>3</b>	● ない	١	など、事務 います。	<b>祭コストの</b>	削減を	·図って	0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更な	ょどにより	コス	ト削減の余地	がある。	<u></u> ත්	3	ない	١					0	ある	•	ない
					— <u>;</u>	次評值	西						•	=	次評価	<u> </u>				
	証布	西点	必要性	有効性	達成度	支	効率性	総合評	価	Ą	<b>必要性</b>	1	有効性	達成原	吏	効率性	生	総	合評	·価
			4	4	3		3	A	- LL		4	<u> </u>	4	3		3	_		Α_	
		多の	○拡大・充				方法改善	〇 民間委詞	t等	$\bigcirc$	拡大・充	1	● 現状			5法改善			]委	t等
A	יוכל	句性	○ 縮小	○ 統合/終			廃止/休止			0	縮小	10	統合/終			整止/休 次記		の出済は		
C	N/ =	<b>-</b> Φ		)高齢化や担い								—火	:評価での	指摘 <del>事</del> り	以及り	一次評	回と	<b>刀</b> 相遅点		
Ţ				₹が困難な状況 す。今後も農業																
0	•			への農地集積を					2.000	油工	:ι− ᄈ+₩ σ	ᄾᄱᄼ	*管理などが	が怎わわ	Z トニ	ҧ <del>ᆕ</del> ҂і	一女又又	ムナナ		
N		革案	田作の生徒に	こおける集落協	ウルトス形	7.1.1.4日 2	なが終する	レレナノー 典地・	が単地し		二、辰地(	八木土	「日垤なこ	J1117716	のかり、	明日寺!	~ <del>55</del> 0	りまり。		
		€行 ·画	して維持され、	-のける未洛師、将来にわたっ	て多面的材	後能が	が発揮されるこ	とを確保してい	いきます。											
		当会																		
		貝宏  事項																		

	No. <b>23</b> —	8 基本事務事			<b>里事業</b>	事務事	業名 農地	也中間管理事	業	公的関	与 2 シ	一卜作成日	令和5年	6月12日
	部局名		業経済		課名	農業振り	興課	主務課長	名	岡本正和		-ト作成者名		倉惇仁
	事業区分	<ul><li>1 ソフト事</li></ul>			3 経常的事務事			金・負担金・支		業運営方法		営		部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理	6 内部管	管理事務・その	D他 事:	未连舌刀	√ 2 −	-部委託	□ 4 補	助等
		基本構想(政						実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施						1 該当	令		年 <mark>~</mark> 令	和年	✓ 期間	設定なし
		主要施策	(2):	地域特性を	生かした「阿波市ブ	ランド」の月	展開 🔘	2 非該当	根	拠法令等	農地中間	管理事業の推済	進に関す	る法律
		対象(誰を、 何を)	雛農者等	の農地										
	事業の 対象・目的	目的(どういう)	最終的	農業経営	の効率化や生産コ	ストの低派	<b>載、耕作</b> 放	乗地の未然防	止のため	こ、地域の	担い手への農	農地集積、集約化	上を促進し	します。
PL		たいのか)	今年度											
AN					きすか。(主なも	の5つま	で)							
N		① 農地の貸し		/手の募集	•把握									
	事業の	② 農地のマッ												
	活動内容	③ 農地中間的	管理機構	を通じたる	川用券の設定									
		4												
		5												
		指標名	1	計算式又	は指標設定理由	単位		令和 3		令和	4 年度	令和 5		最終目標
	数値目標	貸付面積				ha	目標		4		36		36	
	(事業の目的						実績		22					
	及び活動内 容の達成度						目標 実績							
	を測る指標)						日標							
							実績							
	予算費目	会 計		— <del></del>	会計	款		木水産業費	項	1 農業	事	目 5 /	農業振興	4 書
	, ,,,,,,,,,		令	`和 3		令和	4	年度決算	令和	5	年度予算	П	備考	1,50
		国庫支出			千円			千円			千円		5	
			金		千円			千円			千円			
	直接事業費	地 方	債		千円			千円			千円			
D	但按争未复	その他特定財	<b></b> 排		2,870 千円			2,500 千円			3,049 千円			
0		一 般 財	源		千円			141 千円			千円			
		計(A)			2,870 千円			<b>2,641</b> 千円			3,049 千円			
		正職員工数·紹		500 人	3,044 千円	0.500	* *	3,021 千円	0.500	* *	3,030 千円			
	人件費(B)	会計年度任用職員			理事業推進員		間管理	事業推進員		間管理事				
		会計年度任用職員工数	·経費 1.	000 人	2,035 千円	1.000	人	1,733 千円	1.000	人	<mark>1,951</mark> 千円			
	全体事	業費(A+B)			7,949 千円			7,395 千円			8,030 千円			

					チェ	ック項目					_	一次評	延備		_	-次評価の	の試用	E .		二次	* 証 征	fi .
		1.			〔も、公平	性・公正		、確保できる等 と響は大きくな		0	少ない		<ul><li>大き</li></ul>	きい	農地集積	・集約化7	が進み	ょ、農業	0	少ない		大きい
	必	2.						<u>▽音は入さくる</u> 「る緊急性が認		. 0	ない	(	<ul><li>ある</li></ul>	<u> </u>		の向上や 必要な施			0	ない	•	 ある
	要性	3.	 住民満足度のI	句上の	ために、	現在の手段	·····································	法等の改善の急	 余地がある。	Ō	ある	(	<u>-</u> ● ない	۸,	•				0	ある	_	ない
	1	4.	住民ニーズの 上回るサート				隣自	治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	(	● いた	はい					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現す	るために	、事業内容	が必	ずしも適切とは	<b>まいえない。</b>	0	いえた	はい (	<b>●</b> いえ	える	農地集積	・集約化る 施策であ			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ノネリ	化など、旅	施策への貢	献度#	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	はい (	● いえ	える		心気である必要			0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策	その中で類	類似・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する	(	● した	はい					0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続る	をして	. も成果の	)向上が期	待て	<b>ごきない</b> 。		0	できた	まい (	● でき	<b>≛</b> る					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して	進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標(	に比べ <sup>-</sup>	て劣って	いる	借受希望				0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	 対して	成果があ	まり上か	うて	いないと思う	<b>5</b> 。		あまり	上がっ	ていない	١		:増加し、ĵ っています		き 傾は入	0	あまり上か	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して	概ね目標	悪を達成し	てし	·ると思う。		0	概ねi	達成し <sup>・</sup>	ている		-				0	概ね達成	してい	·ි
	^	4.	目標設定に対	対して	十分に目	標を達成	えして	いると思う。		0		達成し							•	十分達成	してし	る
		1.	効果に比べて	てコス	ことが高い	١,				0	高い	(	● 適:	当	農地中間				0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノ	゚ヷハウギ	新たな制	」度を	活用できる。		0	できる	3 (	● でき	きない	見胆され 算が必要	るため、it となってき			0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	上成果	見の関係で	、実施手	段等	を見直す余地	也がある。	•	ある	(	つ なし	۸,					•	ある	0	ない
		4.	電子化や契約	内方法	の変更な	こどにより	コス	、ト削減の余地	也がある。	0	ある	(	<ul><li>なし</li></ul>	۸,					0	ある	•	ない
						_	次評	価								Ξ	次評	価				
	電車	西点	必要性	<b>1</b>	有効性	達成原	吏	効率性	総合	評価		必	要性	1	与効性	達成原	隻	効率	生	総	合評	<del>·</del> 価
			4		4	4		3	Α	_			4		4	4		3			Α	
		多の	○拡大・対		● 現状			方法改善	〇 民間委	託等			太大・3			維持		方法改善			]委	七等
A	ار	句性	○ 縮小		統合/終	期設定	0	廃止/休止				<u></u>	宿小	10	統合/終			廃止/休		D +口 '幸 上	_	
ACTIO			農業従事者の め、借り手側					‡作放棄地が増 なっている。	曾加すると予想	思される		農地中	中間管理		評価での							 等を進め
N	と多	革案 実行 ·画	本事業の一層 保全や耕作加	層の取 女棄地	ね推進を の解消を	行うことに 行います。	より、 ,	、農地の集積、	集約を促進さ	させ、農	<b>漫地</b>	ます。										
		員会  事項																				

	No. 23 —	9 基本事務事業	名 人・農	地プラン	/事業	1	<b>事務事業</b>	名人・	農地プラン事	業		公的関与 2	シート作成日	令和5年	6月12日
	部局名	産業	<b>美経済部</b>		課名	层	農業振興	課	主務課長	名	岡	本正和	シート作成者名	中	倉惇仁
	事業区分	● 1 ソフト事			3 経常的事務				金・負担金・支		巨墨油	'B' L \T	直営		È部委託
	争未区力	○ 2 ハード事			4 施設の維持	寺管理	. 0	5 内部管	管理事務・そ(	の他	#未理	三五万法	2 一部委託	□ 4 袝	助等
		基本構想(政策	<mark>〔)</mark> 4. 豊	かで活力	りある阿波				実施計画			事	≰の開始・終	了	
	総合計画	基本計画(施策							1 該当		令和	年 ~	令和	三 🗾 期間	設定なし
		主要施策	(4)	農業生産	基盤の整備			0	2 非該当		根拠沿	去令等 人·農	地問題解決加速	化支援事	業実施要綱
		対象(誰を、 何を)	内農業	<b>皆等</b>											
	事業の 対象・目的	目的(どうい 最 う状態にし										利用の姿を明確 地の集約化等を			れを実現すべ
PL		たいのか) 🧁							進していきます	•					
AN		具体的にどのよ						•)							
N		① 地域の中心			ハ手)等の登録	录受付。	)								
	事業の	② 協議の場の													
	活動内容	③ 地域計画の													
		4 地域計画案	の説明会	会の実施											
		5													
		指標名	Ī	計算式又	は指標設定理	里由	単位		令和 3	年度		令和 4 年度	令和 5		最終目標
		協議実施回数					<u> </u>	目標					10	10	
	(事業の目的							実績							
	及び活動内 容の達成度						-	目標 実績							
	を測る指標)							<u> </u>							
							-	実績							
	予算費目	会 計		一般的	<b>슬</b> 計		款		▲ 水産業費	I	1	農業費	1 目 5	農業振り	<b>上</b>
	7 77 76 1		令 和			算	令和	4	年度決算	令和	•	5 年度予算		備考	
		国庫支出3	金			千円			千円				F円		
			金			千円			千円			7	f円		
	直接事業費	地 方 化	責			千円			千円			7	f円		
D	但按争未复	その他特定財法	源			千円			千円			7	f円		
0		一般財	源		25	千円			25 千円			87 =	f 円		
		計(A)			25				<b>25</b> 千円				F円		
		正職員工数·経		00 人	2,435	千円	0.400 ,	人	<b>2,417</b> 千円	0.400	)人	2,424	f円		
		会計年度任用職員職													
		会計年度任用職員工数·紹	<b>圣費</b>	人		千円		人	0 千円		人	F 0			
	- 4 はまっ	業費(A+B)			2,460	4四			2,442 千円			2,511	f PI I		

					ック項目				一次評	呼価		_	-次評価(	の説り	月		二次	評価	Ī
		1.				生が確保できる等 も影響は大きくな		<ul><li>少な</li></ul>	まい (	● 大き	ι,	農地集積 の生産性	の向上や	耕作	放棄地	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	<b>犬況の中、次年</b>	度以降実施	<b>拖する緊急性が</b> 認	ぬられない。	○ ない	١ (	● ある		の解消に	必要な施	策です	۲。	0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の向	句上のために、	現在の手段、	方法等の改善の余	戻地がある。	ある	(	● ない						0	ある	0	ない
		4.		)低下がみられ ごスとなってい		舞自治体と比較し	<i>、</i> てニーズを	<ul><li>いる</li></ul>	(	● いなし	L)					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を写	実現するために	、事業内容が	が必ずしも適切とは	はいえない。	<ul><li> เหล</li></ul>	ない (	<b>●</b> いえる	3	農地集積に有効な				0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	/ネリ化など、旅	<b>地策への貢献</b>	度が著しく高いとに	<b>まいえない</b> 。	<ul><li>) เหล</li></ul>	ない (	いえる	3	事業を進				0	いえない	•	いえる
CH	性	3.	市が実施する	6施策の中で類	頁似・重複し	<b>した事務事業が存</b>	在する。	<ul><li>する</li></ul>	•	● しなし	۱,					0	する	•	しない
E		4.	事業の継続を	としても成果の	向上が期待	寺できない。		○ でき	ない (	● できる	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	付して進捗状況	ใが劣ってし	いると思う。		○ 目標	に比べ <sup>-</sup>	て劣ってい	る	農地の貸 面積の実				0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	けして成果があ	まり上がっ	っていないと思う	0	○ あま!	り上がっ	ていない		今後、耕作	作放棄地	などを	把握し、	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	付して概ね目標	栗を達成して	ていると思う。		( 概ね	達成し <sup>®</sup>	ている		農地中間 券設定を				0	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	付して十分に目	標を達成し	していると思う。		<ul><li>十分</li></ul>	を達成し	ている		す。				•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高い	١,			○ 高に	١ (	● 適当		農地中間を配置し、				0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	*のノウハウ*	新たな制度	度を活用できる。		○ でき	る (	● できた	はい	図っている		いいり月	リルスで	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関係で	、実施手段	<b>设等を見直す余地</b>	ぴある。	<u></u>	(	● ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更な	だにより=	コスト削減の余地	ヹがある。	ある	(	● ない						0	ある	•	ない
						(評価								次評					
	評值	五点	必要性	有効性	達成度		総合評	価		要性	1	<b>可効性</b>	達成	<b></b>	効率性	ŧ	総	合評	価
	<u></u>	後の	<b>4</b> ○ 拡大·充	<b>  4</b> E実	<b>│ 4</b> ├維持 <i>  (</i>	<b> 4</b> ◉ 方法改善	A ○ 民間委記	£		<b>4</b> 広大・充	宝	_ <b>4</b> ○ 現状	<u>        4   </u> ∜維持		<u>4_</u> 方法改善	Ė		A ]委i	1等
A		対性	○ 縮小	○ 統合/終		○ 廃止/休止				宙小		統合/終			<u> </u>		<u> </u>	134	-
A			農地を貸した	こい方」と「借りた	とい方」との	仲介がある程度実			<u> </u>			評価での					の相違点	į	
TIO	当課	題	放棄地が拡大 ます。また人・ の集約化等に	てすることが予想 農地プランが <u>に向けた取組が</u>	思されるため 6和5年4月 加速化され <sub>・</sub>	É事者の高齢化等 )、継続して事業を 1日に「地域計画」 ることになっていま	進めていく必 」として法定化: きす。	要があり され農地 		┼画の策	定に	向け国の							て事業推
N	と3 計	画	地域の農地が	「適切に利用さ	れなくなるこ	り農業者の減少や とが懸念されるた <u></u> 進していきます。			進につ	いて努る	めまっ	<b>5</b> 。							
		€会 事項																	

	No. 23 —	10 基本事務事	業名 新規	見就農者育	成総合対策事業	事務事	業名 新規	見就農者育成	総合対策事	工業 公的関	与 2	シート作成日	令和5年	6月14日
	部局名	盾	<b>E業経済</b>	部	課名	農業振り		主務課長		岡本正和		ノート作成者名	<b>†</b>	南 健
	事業区分	1 ソフト	事業		3 経常的事務事	業 ●	5 補助	金・負担金・ヲ	z援 <sub>車:</sub>	業運営方法	± _ 1	直営	□ 3 全	全部委託
	争未区力	○ 2 ハード	事業	0	4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・そ	の他 <sup>事:</sup>	未连舌刀。	<u>2</u>	一部委託	☑ 4 補	亅
		基本構想(政	-					実施計画				業の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施					<u> </u>	1 該当	令				☑ 期間	設定なし
		主要施策	(5)	)多様な担	い手の育成		C	2 非該当	根	拠法令等	農業経	営基盤強化促進	法	
		対象(誰を、 何を)	市内農業	<b>美者等</b>										
	事業の 対象・目的	目的(どうい	最終的		業を始めた青年等 就農者、担い手のG			マ定な就農直	[後の所得る	を確保する	ための支援	どや施設整備、機	械導入を	支援すること
PL		う状態にし たいのか)	今年度											
AN		具体的にどの	りようなだ	舌動を行い	ゝますか。(主なも	の5つま	で)							
N		① 就農直後	の不安定	Eな時期を	下支えするためのう	資金を交付	けします。							
	事業の	② 施設整備												
	活動内容	)	析·営農資	資金·農地 <i>0</i>	D確保といった課題	[に対応で	きる「新規	見就農者訪問村	目談員」によ	るサポート	を行います	0		
		4												
		5												··
		指標名	<u> </u>	計算式又	は指標設定理由	単位		令和 3		令和	4 年度		年度	最終目標
	数値目標	新規採択者数				経営体	目標		8		1	0	10	
	(事業の目的						実績		15			/		
	及び活動内 容の達成度						目標 実績							
	を測る指標)						目標							
							実績							
	予算費目	会 計			会計	款		林水産業費	項	1 農業	<b>書</b>	目 5	農業振興	<b>显</b>
	, ,,,,,,,,,	- H.	수	3和 3		令和	4	年度決算	令和	5	年度予算		備考	
		国庫支出			75,999 千円			67,437 ∓₽		1		円国の新規就		業見直しに
		県 支 出	金		千円	•		千円	ı		千F	円より、農業次		
	直接事業費	地 方	債		千円			千円	l		千日	円ら新規就農剤	育成総合:	対策事業に
D	但按爭未貝	その他特定則	<b></b> 財源		千円			千円	I		千日	変更。		
0		一 般 財	源		1,362 千円			8,597 千円	l		8,417 ∓F			
		計(A)			<b>77,361</b> 千円	<u> </u>		<mark>76,034</mark> 千円			<mark>15,863</mark> ∓F			
	I (1) = 10 (2)	正職員工数:		.700 人	4,262 千円			<b>4,230</b> 千円			<mark>9,090</mark> 千F	円		
	人件費(B)	会計年度任用職員			者訪問相談員			方問相談員 		就農者訪問				
	人人士	会計年度任用職員工	数·経費 1	.000 人	2,380 千円		人	2,356 千円		<u>人</u>	<b>2,250</b> 千月			
	王14事	業費(A+B)			84,003 千円			82,619 千円			<mark>27,202</mark> 千F	H) I		

						ック項目					一汐	マ評価		_	·次評価の	D説明			二次	評価	ī
		1.						確保できる等 響は大きくな		0	少ない	<ul><li>大</li></ul>	きい	新規就農 を確保す				0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政制	犬況の「	中、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	● ある	3	す。				0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の「	句上のか	ために、耳	現在の手段	<b>と、方</b>	法等の改善の余	戻地がある。	0	ある	<ul><li>なし</li></ul>	۸,					0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの上回るサート				隣自	治体と比較し	,てニーズを	0	いる	○ いた	はい					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現する	るために、	事業内容	が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえない	● いき	える	本事業はを支援し、				0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	・ネリ化	たなど、施	策への貢	献度か	ぎょく高いと	<b>はいえない。</b>	0	いえない	● いき	える	ために大				0	いえない	•	いえる
CH	姓	3.	市が実施する	施策の	の中で類	[似・重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	● した	いぼ	]				0	する	•	しない
E		4.	事業の継続を	として:	も成果の	向上が期	待で	きない。		0	できない	● でき	<b></b> ₹る					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	すしてi	進捗状況	が劣って	いる	と思う。		0 1	目標に比	べて劣って	いる	目標は概 今後も継				0	目標に比べ	べて劣	っている
	達世	2.	目標設定に対	すして月	<b></b> 成果があ	まり上が	うて	いないと思う	0	0 8	あまり上た	ぶっていない	1	保•育成				0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	すして村	概ね目標	を達成し	てい	ると思う。		O #	概ね達成	している						0	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	すして-	十分に目	標を達成	して	いると思う。		•	十分達成	えしている						•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	こコス	トが高い	0				0	高い	● 適:	当	新規就農	者訪問相 りな事業選			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	ҟのノヮ	ウハウや	新たな制	度を	·活用できる。		0	できる	● でき	きない	ています。		E白 でラ		0	できる	•	できない
	坐性	3.	予算・人員と	成果(	の関係で	、実施手	段等	を見直す余地	がある。	0	ある	<ul><li>ない</li></ul>	۸,	]				0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	为方法(	の変更な	どにより	コス	ト削減の余地	がある。	0	ある	<ul><li>ない</li></ul>	,١					0	ある	•	ない
						_	次評	•• •								次評価	-				
	評値	五点	必要性	有	効性	達成	茰	効率性	総合評	価	إ	<b>必要性</b>	1	有効性	達成原	复	効率性	ŧ	総	合評	価
	<u>م</u>	後の	<b>4</b> ○ 拡大·充	 	<u>4</u> ┃ <b>⑥</b> 現状	<b>4</b> - 丝件 t=	$\overline{}$	<b>4</b> 方法改善	A ○ 民間委記	华	0	<b>4</b> 拡大・3	<b> </b>	<b>4</b>   ┃ <b>●</b> 現状		<u></u> し	<b>4</b>	Ė	○ 民間	A 表記	1年
		り性	○ 縮小		統合/終			廃止/休止	〇 氏间安市	<u> </u>	0			統合/終			<u> </u>		O KIE	又口	L #
A	,,,	J 1.	C aller	<u>                                     </u>	י אין לים טפו	/V1HX /C					Ĭ	4410 - 3		評価での					の相違点	į	
TIO								、徳島県を代 保・育成が課題		或である	新規		を確保	けるために	こ、所得向	上に繋	きがる魅				継続して
N			新たな担い手	の確係	<b>R</b> 及び就点	 豊直後の <sup>.</sup>	サポ-	ート体制を強化	します。		進	かるほか、	県や、	JAと連携を	を強化して	いきま	す。				
		量会 事項																			

	No. <b>23</b> —	11 基本事務事	業名 野芽	某ソムリエ	活動促進	事務事	事業名 里	<b>妤菜ソムリエ</b>	舌動促	進	公的関与 8	3 シ-	−ト作成日	令和5年	6月14日
	部局名	産	業経済	部	課名	農業挑	長興課	主務課	長名	岡	本正和	シー	·卜作成者名	永	并勝大
	事業区分	○ 1 ソフト	事業		3 経常的事務	事業	5 補 5	助金·負担金	▪支援	車 幸 湿	堂方法	1 直	営	3 4	全部委託
	争未应力	○ 2 ハード	事業		4 施設の維持	管理(	) 6 内部	部管理事務•	その他	サ 未 注	10000000000000000000000000000000000000	2 —	部委託	√ 4 ¾	甫助等
		基本構想(政	策) 4.	豊かで活	力ある阿波			実施計詞	画			事業(	の開始・終う	7	
	総合計画	基本計画(施	<mark>策)</mark> (1)	農業の扱	<b>長興</b>		-{	● 1 該当		令和	年 ~	<mark>~</mark> 令	和 年	☑ 期間	記定なし
		主要施策	(6)	)交流と協	場の促進		-{	○ 2 非該当		根拠》	法令等 阿	波ベジオ	性化魅力発 <sup>。</sup>	信事業費補	亅釛金交付要綱
		対象(誰を、 何を)	野菜ソム	リエ組織											
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的		大人まで幅広い 2消、食育等の推			の野菜や果物	の魅力	力を情報発信	言できる団体	等を支援	そすることに よ	り、農産物	勿のブランド化
PL		たいのか)	今年度												
AN		具体的にどの	こような流	舌動を行し	いますか。(主な	もの5つ	まで)								
N		① 野菜ソム!	リエ組織に	に必要な会	会議費、研修費、	事務費等に	こ係る費用	用を支援します	- 0						
	事業の	2													
	活動内容	3													
		4													
		5													
		指標名	3	計算式又	スは指標設定理	曲 単位		令和	3 年		令和 4 年	- 度	令和 5		最終目標
	数値目標	PR活動回数				回	目標			10		12		12	
	(事業の目的						実績			1		13			
	及び活動内	新規加入者数				人	目標								10
	容の達成度 を測る指標)	1777					実績					2			
	で例の指標)						目標								
	3 M # 5	A -11		<u> </u>	A =1		実績				I dib alle dib				73 #
	予算費目	会 計			会計			· 林水産業費	_	項 1	農業費	<b>⇒</b> ***	目 5	農業振	興貨
				3和 :	3 年度決算		4	年度決?		令和	5 年度			備考	
		国庫支出				-円			f円 			千円			
			金債			<del>-</del> 円			f円 cm			千円			
	直接事業費	地 方 その他特定則				<del>-</del> 円			f円 rm			千円			
DO			源源		25 +	<del>-</del> 円			f円 f円		70	千円 0 千円			
		<u>ー 般 財</u> 計(A)	冰		25 <del>1</del>				F円 F円			0 千円 <b>0</b> 千円			
		正職員工数:	込む ひんり	.100 人	609 7		U 1	604		0.100 人		6 千円			
	人件費(B)	会計年度任用職員		.100 人	- 009 1	1.1 0.10	· /\	004	111	0.100 人	- 00	<u> </u>			
		会計年度任用職員工数		人	0 =	<b>-</b> 四	人	0 -	fЩ	人		0 千円			
	全休事:	業費(A+B)			634 <del>=</del>			1.017				6 壬四			

						ニック項目					_	-次評	価		_	-次評価	の説	明		二次	評価	
		1.						が確保できる等 と響は大きくな		0	少なし	, (	)大	きい	これから				0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財	政状況	の中、次年	<b>丰度以降</b> 集	€施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない		ある	3	政などの				0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度	の向上	のために、	現在の手段	2、方	法等の改善の急	余地がある。	0	ある	(	) なし	۸,	ため、必	女仏尹禾	と与ん	<b>-</b> チ 9 。	0	ある	•	ない
		4.			下がみられ となってし		[隣自	治体と比較し	<i>、</i> てニーズを	0	いる	(	いか	はい					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的	Jを実現	するために	、事業内容	学が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえな	い	いわ	える	野菜ソム 野菜や果				0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容の	マンネ	リ化など、	施策への貢	献度な	が著しく高いと	<b>はいえない。</b>	0	いえな	い	いわ	える	することだ				0	いえない	•	いえる
CH	効性	3.	市が実施	する施	策の中で熱	類似・重複	夏した	事務事業が存	在する。	0	する	0	した	はい	す。				0	する	•	しない
E		4.	事業の継	続をし	ても成果の	の向上が期	月待で	きない。		0	できな	い	でき	きる					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定	に対し	て進捗状況	兄が劣って	こいる	と思う。		0	目標に	比べて	劣って	いる	野菜ソム 内産の野				0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定	に対し	て成果がる	あまり上か	うて	いないと思う	) <sub>0</sub>	0	あまり.	上がって	いない	١	発信する	様々な活			0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定	に対し	て概ね目	票を達成し	てじ	いると思う。		0	概ね達	を成して	いる		ています	0			0	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定	に対し	て十分に	目標を達成	えして	いると思う。		•	十分道	産成して	いる						•	十分達成	してい	გ
		1.	効果に比	べてコ	ストが高い	,۱۰				0	高い		適	当	野菜ソム	リエが進。 担するこ			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施	主体の	ノウハウ	や新たな制	度を	活用できる。		•	できる		) でき	きない	率的な農				•	できる	0	できない
	率性	3.	予算・人	員と成	果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余地	がある。	0	ある	(	ない	۸,	す。				0	ある	•	ない
		4.	電子化や	契約方	法の変更を	などにより	リコス	ト削減の余地	がある。	0	ある	(	なし	۸,					0	ある	•	ない
							次評	•				•					次評	-				
	評値	西点	必要性 4	E	有効性	達成原	芰	効率性	総合評	[価		必要		1	j効性 4	達成	度		生	総	合評	価
	今後	後の		· 充実	4 ┃ <b>●</b> 現	•		3 方法改善	A ○ 民間委託	托等	{		· 大·3	 た実	-	<u>4</u>  *維持		<u></u> 方法改語	姜		A ]委i	<del>.</del> 等
A		う	〇 縮小			·斯設定		廃止/休止	-	<u> </u>		<u>) 縮</u>		ÎÒ	統合/終		_	廃止/休				
C														二次	評価での	指摘事	頁及(	ゾー次評	価と	の相違点	į	
TIO	当課				バルアップ なる必要が		す。親	行しい体制へ移	行し、行政に刺	頂らな		野菜ソ.	ムリエ	:コミュ	ニティ阿波	なと連携し	、阿波	<b>皮市産野</b> 芽	草の鬼	±力などの	情報	発信を
N	と多	革案 実行 画	事務局を	野菜ソ』	ムリエコミュ	ニティ阿波	に完	全移行。野菜)	ノムリエの新規	育成		迷続し <sup>.</sup>	て推進	進します	<b>†</b> 。							
		員会 事項																				

	No. <b>23</b> —	12 基本事務事業	業名 産業	<b>美観光活</b> 性	生化事業	事務事	業名産	業観光活情	生化事	業	公的関与 8 シ	一卜作成日 令和5	年6月14日
	部局名		業経済		課名	農業振	興課	主務認	長名	尚			永井勝大
	事業区分	○ 1 ソフト事			3 経常的事務			金•負担金		¥ ¥ .#			全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持領	管理	6 内部	管理事務					· 補助等
		基本構想(政策						実施計	画			の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施領						)1 該当		令和	年 ~ 令		間設定なし
		主要施策	(2):	地域特性を	生かした「阿波市	゙ブランド」の	展開	2 非該当	á	根拠》	去令等  阿波市農	林水産業振興事業費	補助金交付要綱
		対象(誰を、 何を)	河波市観	光協会									
	事業の 対象・目的	目的(どうい)	最終的	地域の資	源である農産物	を核とした均	地域おこし	を支援し、	本市の点	農業・商業、	そして観光の発展を	一体的に推し進めま	す。
PL		たいのか)	今年度										
AN					<b>ゝ</b> ますか。(主な		-						
N		)	、そして	観光の発	展を一体的に推し	進めるため	カ、地域σ	)資源である	「食」を	核とした地	域振興の取り組みを	支援します。	
	事業の	2											_
	活動内容	3											_
		4											
		5		- 1 12	- · · · ·	1 1 397.71		A 7-			^ · · · · · ·	_ ^	
		指標名		<b>又</b> 定算信	(は指標設定理)	由 単位		令和	3 年		令和 4 年度	令和 5 年度	最終目標
	数値目標	観光客入込客数				万人	目標			120	75		75 85
	(事業の目的						実績			68.1	74.9		
	及び活動内 容の達成度						<u>目標</u> 実績						
	を測る指標)						日標						
							実績						
	予算費目	会 計		一般	会計	款		林水産業績	<b>*</b>	項 1	農業費		
			令	和 3			4	年度決		4 - 7	5 年度予算	備考	
		国庫支出	金	·	千				千円		千円		
		県 支 出	金		千	円			千円		千円		
	直接事業費	地 方	債		千	円			千円		千円		
D	但按爭未貝	その他特定財	源		千	円			千円		千円		
0			源		4,000 千	円		4,000	千円		4,000 千円		
		計(A)			<b>4,000</b> 千			4,000			4,000 千円		
		正職員工数·紹		100 人	609 千	円 0.100	人	604	千円	0.100 人	606 千円		
	人件費(B)	会計年度任用職員耶											
		会計年度任用職員工数·	·経費	人	<b>0</b> ∓		人		千円	人	0 千円		
	全体事業	業費(A+B)			<b>4,609</b> ∓	円		4,604	千円		4,606 千円		

					チェ	ック項目					_	·次評ſ	西		_	-次評価	の説	明		二次	:評価	i
		1.						が確保できる等 ジ響は大きくな		0	少なし	, ©	)大き	きい		行政の連	携が	不可欠で		少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政料	犬況の中、	次年	度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある	3	あり、今ん います。	後も必要な	事業	と考えて	0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の	向上のため	に、耳	見在の手段	<b>と、方</b>	法等の改善の余	余地がある。	•	ある	0	なし	۸,	いまり。				•	ある	0	ない
		4.	住民ニーズの上回るサート				隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いた	いぼ					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するた	めに、	事業内容	が必	ずしも適切とに	はいえない。	0	いえな	ı O	いえ	える	観光協会	を通じて  産の野菜			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ンネリ化な	ど、施	策への貢	献度な	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	い 💿	いえ	る	を情報発	信するこ		き、有効	0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	る施策の中	で類	似・重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	•	しな	ζl۱	と考えま <sup>・</sup>	<b>9</b> 。			0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続る	をしても成	(果の	向上が期	待で	<b>きない。</b>		0	できな	い	)でき	<b>5</b> 3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗	步状況	が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて	劣ってし	いる	観光協会	において			0	目標に比	べて劣	っている
	達世	2.	目標設定に対	対して成果	₹があ	まり上が	うて	いないと思う	j 。	0	あまり.	上がってに	いない		を情報発	信する様	々な	舌動が進	•	あまり上か	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね	3目標	を達成し	てい	いると思う。		0	概ね達	を成してい	いる			いますが。 )影響もあ			0	概ね達成	してい	3
	,	4.	目標設定に対	対して十分	分に目	標を達成	して	いると思う。		0	十分道	産成して	いる			難しい状態			0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストカ	ぶ高い	٠,٥				0	高い	0	適	当	観光協会	が進める することに			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウィ	ヽウや	新たな制	度を	活用できる。		•	できる	0	でき	きない	な農業振				•	できる	0	できない
	率性	3.	予算・人員の	と成果の関	関係で	、実施手	段等	を見直す余地	也がある。	0	ある	0	なし	۸,	す。				•	ある	0	ない
		4.	電子化や契約	約方法の変	変更な	どにより	コス	ト削減の余地	也がある。	0	ある	•	なし	,1					0	ある	•	ない
							次評	•• •				•					次評	••				
	評値	西点	必要性 3	有効	生	達成原	艾	効率性	総合評	呼価		<u>必要</u> 3		1	<b>有効性</b>	達成	<b></b>	効率	生	総	合評	価
	今後	を の		4	 現状	2 :維持		<u>       2        </u> 方法改善	B ○ 民間委	托等	{		大・弁	 字:字:		<u>2</u> 比維持	О	<u>2</u> 方法改氰	Ę		B 『委』	 £等
Δ		句性	○ 縮小			期設定		廃止/休止	0 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10			<u>○ 縮</u>		ÎÒ	統合/終		_	廃止/休				
A							_							二次	評価での	指摘事項	頁及7	ゾー次評	価と	の相違点	į	
TIO			阿波市農産物施するべきか					予算の中で如何 。	]に効果的に事	業を	±				産物と観り							
N	اع	革案 実行 ·画	今一度、事業	・ 内容を見 <sup>・</sup>	つめ直	直し、効果	的な	施策を推進しま	 ミす。		[:	ナた取糸	祖を進	<b>≜める</b> ;	ため、情報	<b>驳交換の</b> 場	易をふ	やすよう	区り組	みを進め	ます	0
		員会  事項																				